



## 市民協働による 「仙台発そなえゲーム」の 開発と普及啓発



宮城県NPO法人FORYOUにこにこの家  
理事長 小岩 孝子

東日本大震災の教訓を全国へ未来へ伝えていきたいという願いを新しい防災「仙台発そなえゲーム」として、市民協働で開発し、普及活動をしています。

### 1 2011年3月11日 14:46 東日本大震災発生

私たちが住む太白区東中田地区は津波の被害を大きく受けた名取市閑上の隣の町で近くの小学校が指定避難所にならなかったこともあり、法人が運営する仙台市東四郎丸児童館に250人を越える人たちが避難してきました。このとき2010年に、にこにこの家が代表・事務局をしている地域の福祉ネット「ほっとネットin東中田」の講習会で体験していた避難所シュミレーションゲーム「HUG」が役に立ちました。1回体験しただけではよく分からないこともありましたが、「あとからたずねてくる人もいるから名簿作成をすること」「個別の部屋割りをすること」の2つを思い出し、実践できたことから「体験の大切さ」を学びました。また にこにこの家で5回の炊き出しをした際に、地域・学校・「ほっとネットin東中田」の団体が材料や支援物資を提供してくれたこと、小中高生がボランティアにきてくれ、要支援者の方たちにもお弁当や支援物資を届けることができたことから、「常日頃のつながりの大切さ」が非常時には役に立つことを実感しました。

### 2 2011年6月・10月 地域の人たちと「震災の振り返り」

そこで 2011年6月、10月と地域の人たち111人で「震災の振り返り」をしました。「炊き出しの方法は正しかったのか・必要な情報は伝わったのか・支援が必要な方たちの居場所はあったのか・近隣のコミュニケーションが大切・学校や地域がみんなでつながっておくことが必要」ということが見えてきました。そして、被災地に生きる一人として「東日本大震災の教訓を伝えていくこと」をしていくべきと考え、前年の「HUG」講習にかかわってくださった方たちに声がけし、実行委員会を2012年3月に立ち上げ、少しずつ準備をしていきました。

### 3 2013年8月 「仙台発そなえゲーム」の誕生

2012年8月から、市民協働による地域防災推進実行委員会としての活動を本格的に開始しました。実行委員会としては「東日本大震災の教訓を未来へ伝えたい」、仙台市市民局としては「市民との協働を模索していたこと」、消防局としては「自助・共助による防災の普及を目指していたこと」から【市民協働】で仙台から発信できたらというみんなの願いがひとつになり、仙台市市民協働事業提案制度を通して2年間仙台市役所と仙台市民が協働してきました。その結果 震災の教訓を未来へ活かす「仙台発そなえ

ゲーム」が誕生しました。2年間で会議は96回。皆さんの意見を参考にしながら何回も練り直しをして、カタチにしてきました。実施会は、東中田地区協力者の方たちから始まり、仙台市内協力者、アドバイザーの先生方、大学生対象の実施会を重ね、2013年8月に「仙台発そなえゲーム」が完成しました。



東四郎丸小親子防災授業「そなえのまちができたよ」

#### 4 2013年8月から 「仙台発そなえゲーム」の普及活動

完成してからは、町内会や学校、市民センター（公民館）等で普及活動に取り組んできました。「仙台発そなえゲーム」は仙台市内及び県外へ防災ツールとして、小・中学校や高校での防災教育へそして、消防大学の教材に掲載されるなど歩みのあるゲームとなってきました。「せんだい防災のひろば」にも参加し、2014年から「ファシリテーター養成講座」も実施しています。2013年は仙台市内で36回の実施会、2014年は東京都板橋区や石川県などでも実施会を行うなど全国への足がかりをつかむことができました。また「仙台市防災ボランティア」表彰、「総務省・消防庁防災まちづくり大賞」を受賞するなど励みになることが続きました。そして 2015年3月、国連

防災世界会議パブリック・フォーラムの東北防災・復興パピリオンで復興局と共に「仙台発そなえゲーム」を発表し、テーマ館「市民協働と防災」ではシンポジウムと実施会を、「高齢者と防災」（体験教室）では実施会を開催するなど、全国の方や外国の方へ「仙台発そなえゲーム」を伝えることができました。



国連防災世界会議テーマ館「市民協働と防災」での実施会

#### 5 「仙台発そなえゲーム」とは

参加者一人一人が仮想の「ある町」に住む架空の住民になって「災害に備えるために、自分や地域に何が必要か・何ができるか」について考えながら実践的に防災・減災を学ぶことができる体験型のボードゲームです。三色のカードがあり、「災害時にあったらいいな」という物、「地域にあったらいいな」という事柄、「自分ができたらいいな」という活動を選んでマップの地域においていきます。そうすると「みんなのそなえの町」が生まれます。

防災のことばかりでなく、人のつながりゲームになっていることが「仙台発そなえゲーム」のよいところかなとも思っています。教えてくれたのは体験してくださった皆さんです。

～自分でそなえる・みんなでそなえる・  
つながって未来に活かすあらたな防災～

それが「仙台発そなえゲーム」です。